

製品名: Egr-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10348**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	EGR3
別名	EGR3; PILOT; Early growth response protein 3; EGR-3; Zinc finger protein pilot
遺伝子 ID	1960.0
SwissProt ID	Q06889
免疫原	抗血清はヒト EGR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 338-387

背景

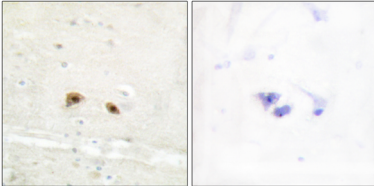
この遺伝子は、C2H2 型ジンクフィンガータンパク質の EGR ファミリーに属する転写調節因子をコードしています。これは、分裂促進刺激によって誘導される前初期成長応答遺伝子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、生物リズムを制御する遺伝

子の転写調節に関与しています。また、筋発達、リンパ球発達、内皮細胞の増殖と遊走、神経発達など、様々なプロセスにおいて役割を果たす可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010年12月], 発達段階: T細胞において、活性化後20分で発現します。、機能: 筋紡錘の発達に関する転写因子と考えられます。、類似性: EGR C2H2型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属します。、類似性: 3つのC2H2型ジンクフィンガーを含みます。、

研究分野

-

画像データ



EGR3抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。